

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【公表番号】特表2005-528747(P2005-528747A)

【公表日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2004-509468(P2004-509468)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 1/00 F

G 0 2 B 6/00 3 2 6

G 0 2 B 6/00 3 3 1

F 2 1 S 1/00 G

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

凹部を有するように形成されるハウジングであって、前記凹部が、環状形状を画定するとともに1つ以上の内部側壁を備えてなるハウジングと、

前記ハウジングに設けられる鏡面であって、前記環状形状の前記凹部によって実質的に包囲される鏡面と、

前記1つ以上の内部側壁に近接するように前記凹部の内部に位置決めされ、内部全反射により光を伝搬する光ガイドと、

前記光ガイドの中心線軸に沿って該光ガイドに形成され、該光ガイドから放射される光の角度分散を画定する一組の切欠き群であって、該光ガイドから放射される該光の該角度分散を、該光が実質的に前記内部側壁を照らすことなく前記凹部から角度をなして分散されるように画定する切欠き群と、

を具備する照明装置。

【請求項2】

前記切欠き群が、前記光ガイドの第1の中心線軸に沿って該光ガイドに形成される第1組の切欠き群であり、前記照明装置は、前記光ガイドの第2の中心線軸に沿って該光ガイドに形成される第2組の切欠き群をさらに具備し、前記光の前記角度分散が該第1組の切欠き群と該第2組の切欠き群とによって画定される、請求項1に記載の照明装置。

【請求項3】

コンパクトをさらに具備する、請求項1に記載の照明装置。

【請求項4】

前記光ガイドから放射される前記光の前記角度分散が、ハウジングからの特定の距離で、前記環状形状の前記凹部に平行な照射平面に向かって該凹部から導出される、請求項1に記載の照明装置。

【請求項 5】

前記光ガイドから放射されて角度をなして分散される光が、ハウジングから特定の距離で実質的に重なる、請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 6】

前記特定の距離が、約 2 ~ 50 センチメートルである、請求項 5 に記載の照明装置。